

世古やすひでだより



発行責任者 鳥羽市議会議員 世古やすひで 鳥羽市国崎町733-4 電話 0599-33-6561



（写真「鳥羽のお仕事ものがたり」のリーフレット）

平成30年3月6日の本会議で「人口減少が進む中での今後の対策について」と「本市の玄関口である鳥羽駅前周辺のデザインについて」一般質問しました。

質問 鳥羽市の人口は1月31日現在で1万920人であるが、減少の要因は。

企画財政課副参事 平成27年の合計特殊出生率が1・2人であるが、減少の要因は。

また、20歳から30歳代の未婚率が男性の2・6%、女性53・1%と高くなっています。

死亡数が出生数を上回る自然減と転出数が転入数を上回ります。

（写真「鳥羽のお仕事ものがたり」のリーフレット）

教育長 小学校4年生にとばつ子探偵団という、歴史や

質問 次の世代を担う子供たちに鳥羽で働く魅力を伝えるために、さまざまな体験を教育の中で取り入れることが重要であると考えるが。

カキと大アサリうまいもん対決 来年も田原で開催決定！

3月10日に伊良湖港緑地

公園で「鳥羽伊良湖観光交流イベント」が行われました。

鳥羽市と愛知県田原市が県境を越え、次回開催地を賭けて、地元の食材を活かした屋台を出店し、来場者が味を評価して対決する人が味のイベントで今回が4回

月13日に、愛知県田原市議会との友好交流協定を結んでおりました。議員も参加しました。



十分な収入を得る環境づくりは農水商工課長 雇用条件の改善の働きかけも必要です

文化に特化した教科書を使い、

鳥羽学という勉強と連携しながら小・中・高と一貫した郷土学習を進めたい。

質問 松尾第二期工業団地を若者の住宅用地として活用する考えは。

市長 私なりにセールスをやつてみたうえで次のことを考えたい。引き続き工業団地の誘致で考えてみたい。

農水商工課長 「とばびど活躍プロジェクト」で事業所に対して雇用条件の改善や効率的な働き方の実現について働きかけが必要になってくる。

先との不一致についても丁寧な働き手を求める市内の事業所と若手世代の希望する就職マッチングだと考えていて、

建設課副参事 三重県において改修工事を実施するときに市もあわせて改修できるよう協議し、景観にも配慮した施設にしていきたい。

質問 鳥羽市の玄関口である鳥羽駅からバスセンターまでの連絡通路は、橋の本体は県で屋根は市管理と聞いていますが、美観的に問題はないか。

橋建設課副参事 三重県において改修工事を実施するときには田原市が勝ち、来年も田原で開くことが決定しました。関係者の皆さんお疲れ様でした。

質問 バールビルが閉館して10年が経過しています。その後の動きは。

副市長 平成23年に市が買い取りの申し入れをしたことがありますが、それ以降はバルビルの管理組合と協議はしていません。

質問 佐田浜周辺のデザインは市長 海にふれあう地域づくりを目指したい

佐田浜周辺のデザインは市長 海にふれあう地域づくりを目指したい

クの中でも話題になり、市民も非常に関心を持っているところです。市も協力をしながら景観の整備も含めて進めていただきたいと思います。

質問 十年、二十年後の佐田浜周辺のデザインをどう考えているか。

市長 百八十度を超える市民・観光客の交流空間を確保し、海にふれあうにぎわいあふれる地域づくりを目指します。

離島の住民や観光客、そして市民もよく利用する連絡通路があるので、「早急に（耐震化も含めて）対応策を県と協議していただきたい」と強く要望しました。



